

令和4年度入学試験 小論文「出題意図」

(入試情報公開用)

共生システム理工学類 学校推薦型選抜

I

現代社会の課題である感染症対策をテーマとした文章を題材とする。文章を正確に読み取る能力と、それに基づき論理的に思考する力や、分析した結果を正しく表現する能力等について評価する。

問1 問題文で紹介される研究例を正しく理解し、論理的に結論を導くことができる能力について評価する。

問2 著者の主張を理解し、要約して文章で表現する能力について評価する。

問3 著者の主張を理解し、重要な点を的確にとらえた上で、それらを正確に表現できる能力について評価する。

II

世界と日本の水資源の量と分布に関する文章と図を題材とする。与えられた文章と図を正しく理解して適切に他者に説明する能力や、自然科学的素養に立脚して論理的に思考・説明する能力について評価する。

問1 与えられた文章と図を正しく理解して適切に他者に説明する能力を評価する。

問2 与えられた文章と図を正しく理解した上で、その背景を自然科学的素養に立脚して論理的に思考・説明する能力を評価する。

問3 自然科学的素養に立脚して推論する能力を評価する。

小論文

ページ	解答用紙枚数	時間
1~4	3枚	90分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはいけない。
2. 印刷不鮮明の箇所などがある場合は、監督者に申し出ること。
3. 解答はすべて別紙の解答用紙の指定欄に横書きで記入すること。
4. 解答用紙の指定欄には必ず氏名および受験番号を記入すること。
5. 解答用紙の評点欄には何も記入しないこと。
6. 解答用紙は持ち帰らないこと。

□ 1 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法等の理由から、公表しておりませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法等の理由から、公表しておりませんのでご了承願います。

- 問1 下線部のような最近の研究に基づくならば、①東アジアの人々がマスクの着用に比較的抵抗感がないのはどのような理由によると考えられるか、また、②欧米人がマスク着用に抵抗を感じるのはどのような理由からだと考えられるか、それぞれ100字程度で述べなさい。
- 問2 顔や表情の見方には東アジアと欧米との間で文化差がある。このような文化差が生まれる過程を著者は本文中でどのように説明しているか、100字程度で述べなさい。
- 問3 これからもマスクを着用しなければならない時代が続くとするならば、今後、いったいどのような問題が起こると考えられるか。著者の主張に基づき2つの問題について150字程度で述べなさい。

II 次の文章を読み、以下の問い合わせに答えなさい。

我が国は、世界でも有数の多雨地帯であるモンスーンアジア¹ の東端に位置し、年平均降水量は約 1,700 mm と、世界の年平均降水量約 1,200 mm の約 1.4 倍となっている。一方、これに国土面積を乗じ、全人口で除した一人当たりの年降水総量でみると、我が国は約 5,000 m³/人・年となり、世界の一人当たり年降水総量約 20,000 m³/人・年の 4 分の 1 程度となっている。また、水資源賦存量²を一人当たりでみると、我が国は約 3,400 m³/人・年と、世界平均である約 7,300 m³/人・年の 2 分の 1 以下である（図 1）。

(*1 モンスーン〔季節風〕の影響を受けるアジアの地域)

(*2 水資源として理論上最大限利用可能な量であって、降水量から蒸発・蒸散によって失われる水量を引いたものに面積を乗じて求めた値)

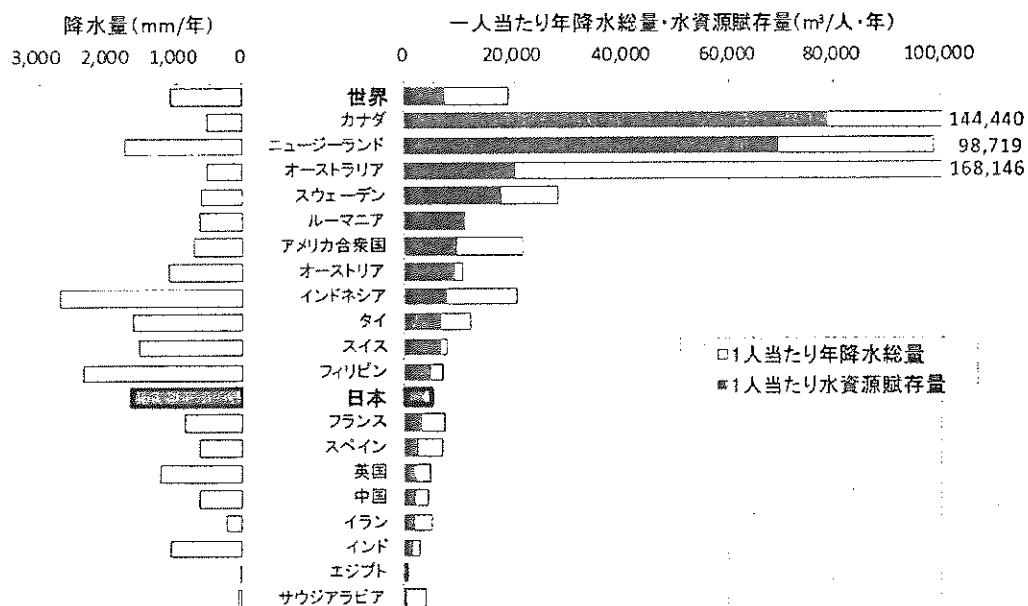


図 1 各国の降水量等

(出典：内閣官房水循環政策本部事務局、令和 3 年版水循環白書、2021、一部改変)

問1 図1で紹介されている国の中、一人当たり年降水総量が一番多いのはオーストラリアである。オーストラリアの一人当たり年降水総量が多くなる原因を、80字程度で説明しなさい。

問2 関東地方の一人当たり水資源賦存量は、東北地方よりも少なくなる。その理由を考察し、150字以内で説明しなさい。

問3 降水量が夏季に多く、冬季に少ない関東地方では、利用可能な水資源量が季節ごとに変化してしまう。この季節変化する水資源量が水利用に与える影響を軽減するために、関東地方の山間部にはダムが設置されている。ダムはどのようにして季節変化する水資源量が水利用に与える影響を軽減していると考えられるか、100字以内で説明しなさい。

